

有料職業紹介
訪問介護
通所介護
宅老 & 託児
E-mail info@s-o-s.co.jp
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>
(株) サポート・ワン・サービス 津島市愛宕町4-113 496-0036
代表TEL:(0567)26-3921 / FAX:(0567)26-3922

vol.74 <平成18年10月09日発行>



気持ちの良い秋の日
木曾三川公園にピクニックへ
出かけました。
楽しく筋力維持を行うためにも
お楽しみの昼食を自分達で運び
沢山歩いて来ましたよ♪



ナイス・デイ利用状況(定期利用者数)

月	火	水	木	金	土	日
10名	9名	9名	10名	9名	10名	5名

ナイスな勉強会・・・「新しい介護セミナーを受講して」

9月17日(日)名古屋国際会議場で開催された、知る人ぞ知る三好春樹さんの新しい介護セミナー“関係づくりの介護”に、介護職員1名・看護職員1名が研修に行きまして参りましたよ。「あっ!という間の1日だったよ。」の感想文です。(今年の社外研修は、三好さんの講座を盛り込みました。)

介護職・看護職に就いてみえる方の中には、三好さんの講座に1回は行ったことがある!という方も多いのではないのでしょうか?10月には“目からウロコの生活作り”に2名、12月には2日間の連続実技講座“介護技術学”に3名のスタッフが受講する予定です。

<感想1>

三好さんのお話は、実際に自らの体験なので、聞いていても自分の関わっている利用者さんに置き換えて聞くことができ、ものすごく分かりやすかった。“今まで自分が見ていたのと違う方向から利用者さんを見ることによって、全然違う対応をすることができる。”ということが良く分かりました。

また、利用者さんが私のことをどのような立場で見ているのかがわかり、今後の自分の立場を考えさせられる一面もありました。自分の何気ない態度が、利用者さんに大きな影響を与えていることを知り、自分の動き一つ一つに責任を持てるように意識して動きたいと思いました。(介護職員: J・O)

<感想2>

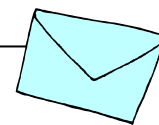
医療関係者とは別に、介護に関わる人にしか成しえない大きな役割がこの「関係作り」に組み込まれていることが良く分かった。看護師としては“耳の痛い部分”もあったが、介護に関わっている今、病院の限界と介護の役割を、自分の中で戸惑いながらも整理し、今後の利用者さんとの関わりに役立てて生きたいと感じました。(看護職員: N・T)



毎年恒例、秋祭りには
子供獅子!



西野家の介護便り その後のビックリ(完)



西野家の介護便りの“その後”をお伝えしたあとのビックリした出来事です。

“まな板の上の鯉”の状態。なんたって、右脇腹からチューブを入れられて治療中。お父ちゃん、前回とは違い、意識はしっかりしているのベッド上の生活に緊張してなのか、入院4日目にしてお見舞いに行った娘の私にしか言えないと、内に秘めた重大な悩みがありました。

『おい、佳恵、あのよ～、、、困ったことがあるんだけどよお……。』と妙な顔つきになり、娘が(もしや、病状が悪いのか?)と思いきや、『ウンチしたったらどーすりゃええんだ、困ったぞ!』って、おい おいっ!!(不意にウンチが出てしまっていたらどうしたんだ、この父ちゃんは……。娘ながら情けなや。

看護師さんと呼んで説明したら、看護師さんも大笑い!看護師さんから父ちゃんに説明してもらい、翌朝安心してウンチを出して、スッキリしたそうです。

同室のお仲間さん達とも仲良くなり、父ちゃんにとっては“ぼちぼち楽しい入院生活”ところが、母ちゃんには別の心配事がありました。

入院してからというもの、ずーずーずーとベッドで寝たままで、ほとんど動いてないもんだから、せっかく動くようになっていた麻痺が、また麻痺らしくなってしまうのか・・・と、毎日毎日マッサージを兼ねて病院へ足を運んでいたようです。(なんたって、我が家は2階に住まいがあり、階段を使わなければならぬので)

その後の検査で、両方の肺に穴が開きそう部位が見つかりました。

手術をする際には、全身麻酔が必要になるとの説明を受けましたが、手術後に、現在の麻痺の状態がどうなるかの不安も大きく、“手術をする”か“手術しない”かを決めるため2人はとても悩んでいたようでした。

『手術するわ!先生頼んだぞ!!!』と言ったその日。

手術前の血液検査で引っかかってしまい、結局手術はしないことになりました。

それからすぐに退院。自宅に戻った時には、母ちゃんが心配していた階段もスイスイ上げて、本人もビックリ!

今は、入院前の生活に完全に戻りました。介護職をしている娘としては、『普段何気に計測している、体温・血圧・脈拍がとっても大切なことなんだな〜』って、今回の入院で改めて実感した次第です。

ナイスな手作業

～ どんないプレゼントカードが出来るか楽しみだよねえ ～

今年8月のお誕生日の利用者さんから、このお誕生日カードをプレゼントさせていただくことになりました。台紙は、利用者さんたちほぼ全員が、細かくちぎった色とりどりの折り紙で飾り付けをしています。



編集後記

近頃、介護の世界も変わってきて、整備しなければならない書類が山ほど増えました。そこで、(電話をかけてくださる方はもう分かっていたかもしれませんが・・・)先月の初旬から、当社初(!)の事務員:古川さんが採用されました。

全く違う仕事からの転職(?)のため、まだまだ不慣れな対応があるかもしれませんが、よろしく願いいたします。『今後は介護職の兼務も出来るようにヘルパー2級を受講し、現場にも出て、現場のことも理解できる事務さんを目指して頑張ります!』と心意気を語ってくれました。介護職に就く者が減ってきている今日この頃、頼もしい存在になることを、現介護スタッフ一同、心から願っておりますよ～ん。

さて、話は変わりますが、先日受けた情報公表調査の報告により、スタッフの書くことの意識に少なからず良い変化をもたらしています。調査や監査の刺激は、スタッフの能力アップのチャンスですね。(H)

～ ここのトイレ、あそこのトイレ ～

「出掛けようと思うけど、どういうトイレがあるのか心配でなあ・・・。」という利用者さんとの会話から、この地域にある施設やお店などのトイレを探索し、掲載することになりました。(注:トイレの良し悪しを評価するための掲載ではありません。)今回は、「津島市立図書館」です。



障害者用トイレに、男性用便器がありました。結構重宝しますよね。(前に手すりがあったら・・・)

